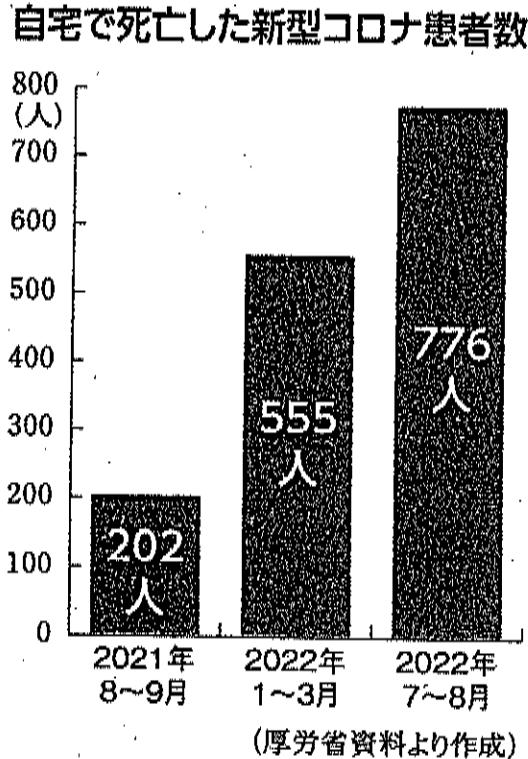


コロナ在宅死 7波776人

新型コロナウイルス 感染拡大の「第7波」の7、8月に自宅で死亡した感染者が少なくとも776人に上ることが分かりました。

厚生労働省が7日発表したもの。自宅での死者数は「第6波」(今年1月～3月)の555人を超えました。約8割が70代以上の高齢者で、7割に基礎疾患がありました。

6波より大幅増加



死亡直前の診断時の症状は「軽症・無症状」が41・4%でした。一方で「中等症」が13・1%、「重症」が7・1%もいました。

6波の「中等症」7%、「重症」2・2%より大幅に増加しており、7波の感染大爆発で、重症化しても入院治療ができない、自分で命を

みます。80代以上が58%で、70代は21%、60代は9%でした。69%が基礎疾患有っていました。

死亡直前の診断時の症状は「軽症・無症状」が41・4%でした。一方で「中等症」が13・1%、「重症」が7・1%もいました。

6波の「中等症」7%、「重症」2・2%より大幅に増加しており、7波の感染大爆発で、重症化しても入院治療ができない、自分で命を

落とした人が急増したことが分かります。

ワクチン接種歴では未接種が20%でした

が、3回接種は28%、4回接種は8%でした。

た。家族と同居が42%

(他は不明)。死亡前

に陽性が判明した人は70・1%。死後は29・

9%でした。具体的な例では「自宅療養中に急速に重症化して死亡

いた」「家族は入院を希望していたが自宅療

養となり死亡した」な

亡くなった人は含まれます。

(内藤真由子)

じが整いました。

ておらず、明らかにな

った犠牲者は水山の一

角に過ぎません。

岸田政権は、オミク

ロン株にふさわしい感

染制御のパッケージ対

する感染再拡大で同様の

策を示さず、成り行き

事態を繰り返さないた

任せの対応で感染大爆

めには、高齢者や基礎

疾患有の高齢者や基礎

疾患有施設の入所者

が基礎疾患有の人、高齢者

が確実に入院できる体

質の構築が必要です。

岸田政権は、発熱外来

の診療報酬を引き下げ

たり、コロナ病床を確

保した医療機関への補

助金を廃止するなど、

コロナ医療の体制拡充

にアレーキをかけるの

打たず、入院治療がで

きないまま多くの命が

失われたことが分かりま

した。しかし今回の

感染大爆発で、

はやめ、医療機関や介

した」「家族は入院を

調査には高齢者施設で

希望していたが自宅療

養しても入院できます

する施策をとるべきで

無策の政権 8波へ入院体制整備急務